

## 岩手県金融経済概況（平成 28 年 9 月）

### 1. 概 況

県内経済は、天候不順の影響などから個人消費の一部に弱めの動きがみられるものの、基調的には緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、天候不順の影響などから一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。設備投資は、増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 28 年 9 月）は、衣料品、飲・食料品の不調を主因に 2 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta$ 3.3%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 28 年 8 月）は 2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比 $\Delta$ 2.6%）。

新車登録・届出台数（登録車+軽；平成 28 年 9 月）は、5 ヶ月振りに前年を上回った（前年比+5.4%）。

#### (2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 28 年 9 月）は、3 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta$ 20.9%）。

新設住宅着工戸数（平成 28 年 8 月）は 2 ヶ月振りに前年を下回った（前年比 $\Delta$ 19.4%）。

—— 主力の持家は 4 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+10.7%）ものの、

貸家、分譲ともに 2 ヶ月振りに前年を下回った（貸家：同△38.5%、分譲：同△64.8%）。

民間設備投資（短観ベース；平成 28 年度計画）は、全産業ベースで前年度を上回る計画となっている。

—— 平成 28 年度（計画）は、一部に下方修正の動きがみられるものの、幅広い業種で新規出店等の増投資、更新投資などが計画されており、全産業ベースで前年度を上回る（前年度比+8.9%）計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 28 年 8 月）は、高水準ながら 10 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△13.9%）。

### 3. 生産動向

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 28 年 8 月）は、4 ヶ月振りに前月を上回った（前月比+5.2%）。

—— 8 月の動向を主要業種別にみると、情報通信機械、生産用機械、食料品が上昇し、輸送機械、窯業・土石製品、化学が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/4～6 月は 5 四半期振りに前期比が増加に転じた（前期比+3.0%）。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成 28 年 8 月）は、1.24 倍となった。

—— 平成 25 年 5 月以降 40 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 28 年 8 月）は、前年を上回った（前年比+0.2%；平成 24 年 3 月以降 54 ヶ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 28 年 7 月）は、名目賃金指数（前年比+4.5%）、常用雇用指数（同+1.5%）ともに前年を上回ったことから、2 ヶ月連続で前年を上回った（同+6.1%）。

### 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 28 年 8 月）は、前年を下回った（前年比

△0.6%；平成27年4月以降17ヵ月連続で前年割れ)。

## 6. 企業倒産

企業倒産(平成28年9月)は、3件、2.4億円(前年同月：2件、6.7億円)と低水準を維持している。

## 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出(平成28年8月)は、ともに前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、引き続き低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622(代) <http://www3.boj.or.jp/morioka/>